

本当に愛した人へ

広島県・一九・大学生
河野美咲

あなたとはたった二度しか会えなかったけれど、きっと運命で出会えた人だから、私はあなたとの一方通行な恋を誇りに思っています。

最初と最後まで私たちが最後に会ったあの日、愛ゆえにあなたを抱きしめた私をあなたは優しくゆえに抱きしめてくれたね。私を包むその腕に愛がないことには気づいていたけれど、なぐさめるように私の髪を撫でてくれたその指にあなたの愛を感じたくて、私への愛を少しでも見つけたくて、優しくさを愛に変えたくて、私はあなたをもっと強く抱きしめたんだよ。

それでもやっぱり優しさは優しさでしかなくて、私の愛が届かないことも分かった。だけど、あなたの隣にいて、抱きしめたその腕を離したら、もう二度と会えない気がしたから、私はあなたにしがみついて「夜が永遠に続くように……」って願ってたんだよ。朝がきて、抱きしめたその腕を離してしまっただけから、あなたは本当に私の前に現れなくなってしまったけれど、狭い町だから、またどこかで会えるんじゃないかって、ずっと期待していました。

ただもう一度はもう二度とないことが分かったから、あなたが私を抱きしめてくれたあの日、二人で見た星空に「あなたと幸せになれるように」祈ったけれど、今夜ひとりきりで見上げた星空に私は「あなたが幸せになれるように」祈りました。

あなたは、私が初めて本当に愛した人でした。
ありがとうね。

*好きだった人に振られました。あの時の一瞬の幸せを忘れることができなくて、でもあの日の出来事をいい思い出にできるように、好きだったあの人にあてて書いた手紙です。